

新林公園みどりの会 会報

新林公園みどりの会は2019年度で発足から20周年を迎え、令和元年と重なることとなりました。20に年亘る会員の皆様のボランティア活動の成果として表彰していただきました。

昨年度の前半は例年通りの活動状況でしたが、後半は湿性地区の公園入口部分の工事、遊歩橋の架け替え、台風被害などがあり活動が大変な状況でもありました。今年度は気分を一新してリニューアルした新林公園の美化・保全を行っていきたいと思いますので会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



【ボランティア活動のポイント】

■今までやっていなくても興味関心ある事から始めてみよう。
興味や関心のないことから始めても長続きはしません。今の自分にできる身近なことから参加して継続をしましょう。

■無理をしない。

頑張らずに自分のできることから始めましょう。無理をしてやっても長続きしません。

自分の気持ち、体力に合った無理をしない活動をしましょう。

■仲間の立場を尊重しよう。

ボランティア活動ではさまざまな立場や思いの人たちが参加します。仲間を尊重しお互いに連携しながらルールを守って活動しましょう。活動で知りえた個人情報の秘密も守りましょう。

会員の寄稿



【20周年を振り返って】

◆林から川へのボランティア活動 清水さん

新林公園みどりの会 20周年おめでとうございます。会員の皆様の日頃の活動に対し敬意を表すとともに、役員の皆様には会の運営に尽力いただき感謝いたします。

私は退職後、健康維持と地域の皆さんとの交流を目的として、みどりの会に入会しボランティア活動に参加してきた。4年ほど前に藤沢市から横浜市栄区へ転居してからは、こちらでも別のボランティアに参加、活動日が重なりみどりの会への足が遠のき申し訳なく思っている。今後も主なイベントにはできる限り参加するつもりでいる。

参考までにこちらでのボランティアを紹介する。

住まいの目の前には「いたち川」が流れている。いたち川は栄区内を東西に約9キロ流れ大船付近で柏尾川に合流する2級河川である。両岸は遊歩道(プロムナード)となっていて散歩する人が多く、円海山から鎌倉方面へのハイキングコースの起点ともなっている。遊歩道には鮮やかな新緑や紅葉の木々が植えられ、水辺にはカワセミ、川鶺などの水鳥が飛び、鯉やオイカワ等の魚が泳いでいる。最近水質改善により鮎の遡上も確認されている。水辺は親水水辺となっていて、8月には「いたち川祭り」がありいかだやカヌーが浮かび市民の憩いの場所となっている。いたち川は周辺の宅地開発によってコンクリートで固められた無機質な川であったが、昭和50年後半から水辺の自然復元を行う河川改修が行われ、現在のような自然豊かな水辺が復元された。

ところがこの自然復元した綺麗な川に、歓迎されない不法侵入者がいる。ペットボトル、空き缶、レジ袋といったいわゆる生活ごみである。人が捨てるから不法侵入者と取って替わらせてもらおう。中にはご丁寧にペットボトルや空き缶を一杯レジ袋に入れて固く結んだものまである。そこまでするならなぜゴミ収集場所に持っていかないのだろうとむかつく。ゴミは川の景観を損ない、また今年のG20でも課題となったが、海洋汚染の基となっている。

目の前の川のゴミがいつも気になっていたところ、水辺の環境を守る「いたち川水辺愛護会」というボランティア団体があることを知り早速入会し活動を始めた。会員は20数名で近くの神奈川県警察学校の学生と共同で活動している。若い女子学生が胴長を着て川掃除をする姿は何とも言えない。私は週1~2回、ごみ収集、草刈りや流木処理をしている。真夏は汗びしょりだが川面の風は格別心地よい。しゃれではないが「いたちごっこ」にならない様、ゴミを捨てる人がなくなることを願いつつ、健康維持のためにも活動を続けたい。

◆「新林公園みどりの会」の思い出(1)卓越したリーダーたち M.Nさん

約17年間にわたり、会の皆様には、大変ご親切にして頂き、また作業に際しましては、懇切丁寧にご指導を受けました。お陰様で楽しく過ごさせて頂きましたことに心から御礼申し上げます。ありがとうございました。引き続き宜しくお願い致します。

今回は、卓越したリーダーたちの話です。

それは、小谷さんと中島さんです。このお2人の仕事ぶりは、並みのプロ以上です。例えば、チェーンソーで申し上げますと、チェーンの張り方の調整、分解掃除、歯の目立てなど、お2人にとっては朝メシ前です。登山道の階段の取り換えや補修をはじめ、棚止めのロープの張り替えなど、いとも簡単にこなされます。小谷さんや中島さんの作業を見ていると、ボランティアのレベルをはるかに越えています。まるで土木作業員か森林作業員といった感じです。

とにかく、「新林」の作業で、このお2人に出来ない仕事は何もないといえます。まるで、プロの作業員がボランティア活動をしているのと同じです。欠けているのは「重機」が無いくらいです。

いつも感心させられるのは、大きな木槌を頭上から振り下ろし、支柱を土の中に埋めるときの作業です。小谷さんのパワーはあの巨体から想像がつかますが、中島さんです。体を弓なりに少し後方にそり返らせて、からだ全体のバネを効かせて頭上から、グワーツと木槌を打ち降ろすと、カーンと澄んだ音を立てて、支柱の真中に当たり、支柱がグイーと地面に喰い込んでいくときです。この身体の動きには、大変躍動感があり、体が良くなっている、いつもホレホレとさせられます。とにかく、小谷さんと中島さんはクイ打ちの名人です。最後の一撃は決まってこのお2人です。脱帽。

中島さんには、もっともっと凄いことがあります。登山道の端に転落防止のロープを張るときのこだわりです。

ロープをたるみなくピンと張るのは当然です。少しでも弛んでいると張り直しです。絶対に、「まあいいや！」ということがありません。

最近では、お年のせいばかりでなく、張り直しが無いようです。が、後で、一人で張り直しをしておられるというウワサもあります。

それにしても、小谷さんといい、中島さんといい、お2人はいつ、どこで、こんな技術を取得されたのか不思議に思っています。更に付け加えるならば、未だに技術的にも、体力的にも、このお2人を凌駕する人が現れていないことです。

いつまでも皆がリーダーの指示に従って和気あいあいとして作業を続けられるのも、皆がお2人に絶大な信頼を寄せ、お2人に対して強い尊敬の念を抱いているからなのです。お2人の人柄だと思っています。

【いろいろ寄稿】

◆新林公園の腐生ラン 黒澤さん

一昨年の11月、ヤブミョウガの群生地にツクシのような形をした高さ30cmぐらいの茶色の茎が多数出現した。クロヤツシロランの果柄である。数えてみたら全部で68本あった。



クロヤツシロラン(果実)

この場所には2006年に数本出たことがあり、12年ぶりの出現であった。花期は10月ごろで、花柄は2.3cmで目立たないがその後、果柄を高く伸ばす。

ぜひ翌年は花を見ようと、目印を立てて待ったが、昨年9月の台風15号、それに続く19号で杉の落枝落葉に埋もれてしまい、あきらめかけていたところ、少数ながら顔を出し、開花した。さらに、別の場所に、アキザキヤツシロランも少数出現した。このヤツシロラン類は従来は腐生植物、腐生ランと呼ばれていたが、最近は菌従属栄養植物という立派な長い名で呼ばれるようになった。

植物といえば、葉に葉緑素を持ち光合成をするものが普通だが、葉も葉緑素を持たず、地中の菌類に寄生して栄養をもらって生きているものもいる。これが菌従属栄養植物である。

新林公園の雑木林は、1960年代以降、落葉かきもされることなく、栄養たっぷりの腐葉土が堆積しており、土壌中の菌類も豊富なのであろう。

菌従属栄養植物に属するランは、そのほかにもタシロラン、マヤラン、サガミランが新林では見られる。これらはほぼ毎年夏季に出るが、出現数は年によって大きくばらつく。

新林の雑木林は、何がいつどこに出るか、予期せぬ楽しみをわれわれに与えてくれる。

◆足元に注意 わらびさん

照りつける日差しが西に傾き山道に陰が落ちる頃、急ぎ足で進む足元に突然それは現れる。音もなく草を揺らすこともない。しかし一瞬息は止まり鼓動が早まる。早く藪に姿を消して欲しいと願うが出てきた所が悪いと土留め板に先を阻まれ思うように進めずその長い体をうねらせ白い腹を見せながら這い回る。恐怖で足がすくむ、拳ほどもある頭の大きさ、これほどの大きさになるには何年かかるのか。この新林の環境と餌になる生き物が豊かな証拠だ。再び藪に姿を隠すとほっとして歩き出す。夏の夕暮れは足元に気が抜けない。

ある日ふと視線の先に白い物が目に入った。近づいてみるとそれは白い蛇だった。まだ脱皮したばかりか体がまだ濡れているようで薄暗い山道のその白さは神々しく輝いて見えた。それに出会えたことが幸運のように思えた。

人間の勝手にその姿から受ける印象は大きく異なる。あれは山の主？それとも山の神？◆



◆「山の野草は薬屋さん」 増田(豊)さん



植物の薬効(化学物質)を調べるのが好きだ。学生時代から研究所勤務までずっと化学してきた。山には様々な薬効がある植物がある。今日は、新林公園の登山口にあるムクロジの洗浄作用を実験した結果を報告する。

＜ムクロジの洗浄実験＞

乾燥して茶色半透明のムクロジの実をはさみで数ミリの大きさに切りガーゼに包む。200mLガラス瓶に醤油で汚した脱脂綿を入れる。1つはムクロジを入れ、もう1つには市販のキッチン用合成洗剤を入れ、水で満たし蓋をして泡てる。翌朝、脱脂綿を取り出し絞り、乾燥して目視で状態を評価する。

＜結果＞

ムクロジでも汚れは落ちるが合成洗剤の方がよく落ちる。成分のサポニンは環式炭化水素の親油基(疎水性部分)と水酸基OHを沢山持つ親水部分が1つの分子中にある。ノニオン系の界面活性剤である。親油基に食べ物の油成分が吸着し、親水部分で水に溶け、マイクロゲルとなって汚れを水中に分散して洗浄作用となる。ちなみにサポニンは苦い味しかしません。

＜新林公園で実験できる野草と化学物質＞

02. 西洋茜のアリザリンの赤は合成顔料の始まり
03. ツクバトリカブトのアコニチンはアルカロイドの毒
04. 桜餅の香りは大島桜のクマリン
05. ムクロジのサポニンを使った洗浄実験
06. クスノキの樟脳のドイツ語はカンフル
08. ヒノキ檜のヒノキチオール(天然の7員環)
09. 彼岸花の毒はリコリンでモグラ退治
18. イタドリのシュウ酸は酸っぱい
24. 銀杏のギンコール酸は認知症予防か?
34. ドクダミのきつい匂いのデカノイルアセトアルデヒド
39. 山椒のサンショオール、サンショウウオは山椒の匂いをする
46. 松のロジンは太古からある天然プラスチック
56. エゴノキの実のエゴサポニンは苦い、まずい
57. シロツメクサのクメストロール、欧州から来た梱包材
59. 竹のように大きく育つタケニグサのサングイナリンは有毒
60. カラスビシャクのホモゲンチジン酸は漢方薬
61. フキノトウのフキペタシテニンは独特の香り
62. ムラサキケマンのプロトピンの毒性
63. 真っ赤なインクのようなヨウシュヤマゴボウの実のフィトラッキゲニンは毒

◆雑草の信念 ドンキーさん

みどりの会は新林公園の美化・保全の作業を中心に行っています。特に広場グループは公園の広場エリアの清掃、除草を中心に作業をしています。毎年、草木が芽吹く頃、雑草の活動も活発になり毎週土曜日の作業は除草に追われます。雑草が憎いわけではありませんがみどりの会の立場上私たちのやれる範囲で根こそぎの駆除を心がけています。

しかしながら、雑草も新林公園の生態系の一部であり植物の括りの一部です。雑草の生き様に少し気持ちを映すと雑草のバイタリティを感じます。

○踏まれても踏まれても雑草のように立ち上がれ！

雑草は踏まれても踏まれても立ち上がりません。踏まれても生きていけるような形になっているのです。違う形の雑草はいろいろな圧力を受け流す形をしています。

○立っている物は親でも使え！

雑草が使う者は親どころではありません。人、動物、風など利用できるものは全て利用して勢力範囲を拡大していきます。

○置かれている場所で咲きなさい！

一度、生きる場所が決まったらそこで生きるしかないのです。いる場所が気に入らなくて手を抜いている雑草はいないでしょう。環境が合わない時はあるかもしれませんが、

かように雑草の生き様を考えると自分の生き様を反省することが多々あります。

【新会員紹介】

◆入会の動機（きっかけ） 宮岸さん(山 Gr)



2019年春に入会した宮岸です。

私が、ボランティア活動を始めたきっかけは、2018年秋に藤沢市民活動推進機構の手塚さんによる

「ボランティアはじめの一步」という講演からです。講演後会員を募集している20団体の資料をいただきました。ある団体に伺ったところ、連絡をとった担当者はお休みで、当日の活動リーダーには何の引継ぎもされておらず、その団体とは相性が悪いなと感じて見学のみとさせていただきます。次に伺った団体が新林公園みどりの会です。体を動かす活動が私に合っているようです。

趣味は、園芸、自転車、卓球、電子工作です。自転車は、クロスバイクに乗っています。電子工作は、たまに秋月電子の電子工作学習キットを組み立てています。園芸は、一年物の花や栽培が易しい野菜を露地植えしています。春は、水仙、グラジオラス、チューリップ。夏は、ひまわり、ミニトマト、キュウリ。秋は、コスモス、マリーゴールド。冬は、パンジー、ヒオラです。

◆入会の動機 岡安さん(山 Gr)



この2月から入会しました岡安と申します。

日頃、森林の整備に関心があり、週末にボランティア活動に参加しています。平日は、保育園に通う孫を朝夕送迎していますが、昼間の空いた時間の有効活用を考えていたところ、当会の募集案内を見てさっそく体験作業に参加させていただきました。この公園は家から比較的近く、孫も含め家族みんなで親しんでいた場所であり、ここでこのような作業を行えるのはとてもありがたいことだと思います。これからお世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

◆よろしくお願ひします。 横山さん(山 Gr)



山グループに在籍の横山と申します。

駅周辺を散策していたところ、この公園を発見し自然の豊かさに驚きました。ボランティアで管理に関われると知り入会。参加頻度は少ないですが、パワフルな先輩方と楽しく活動しています。



【イベント】

■公園研修会

2019年度の公園研修会は 10月19日(土)県立大磯城山公園で実施しました。

20名の方に参加していただきました。

台風の影響やらスズメバチやらであちらこちらが立ち入り禁止となっていました。各自いろいろ散策し、たのしい時間をすごしました。



大磯城山公園見学会を振り返って

浅沼さん

昨年10月21日(土)新林公園みどりの会は大磯城山公園見学会を実施いたしました。好天に恵まれ、各々園内の歴史と豊かな文化を感じながら散策しました。

城山公園は旧三井財閥当主の別荘と旧吉田邸を合わせた公園です。旧三井邸地区は別荘の他かつて置かれていた国宝の茶室を模した建物などが当時を物語っていました。

程好い丘陵地帯を高台まで歩き、遠く伊豆、箱根を眺めながら昼食をとり庭園を十分に楽しみました。旧吉田邸は吉田茂が生涯を閉じるまで過ごした邸宅で国内外の要人が多数訪れたそうです。日本庭園はあまり様式にとらわれない植物が植えられ建物同様とても人間性が現れている庭園でした。新林公園と違った人工的の公園でしたが植物は心を癒してくれます。

吉田邸園内で合流し無事帰宅いたしました。

■公園観察会 年2回開催

黒澤さんの説明により山間部の草木の観察会が開催されました。

4月20日(土) 10時～ 参加10名

10月12日(土) 天候不良のため中止

■花壇植え込み(夏用、冬用 年2回)

6月2日(土) 600苗 マリーゴールド、
サルビア、ケイトウ 他

12月1日(土) 800苗 パンジー 10色



■第10回 地域活動見本市 出展

地域で活動している団体のPRを行います。

9月7日(土) 11時～15時

主催)藤沢市役所、NPO 法人湘南藤沢シニアネット

藤沢市役所 1階ロビー 参加22団体 来場者 約600名

ボランティア募集ちらし、公園MAP ポスター掲示、PCにより写真スライドショー

見学者 10名

【トピックス】

■新林公園の台風被害

今年度は大型台風が直撃し、新林公園も大きな被害を受けました。

広場、山間部も倒木が多数あり、広場は業者により整備されましたが、山間部は半年以上整備・保全の作業をしています。広場の冒険広場付近の法面が3ヵ所崩落し、業者による保全工事が行われました。(一番右の写真は会員による作業です)



山の活動この1年—台風後始末奮闘記— 山グループ

2年振りに山グループに3人のメンバーが入りました。パワー抜群の宮岸さん、フレッシュな現役若手の横山さん、新林以外の森林保全にも携わるベテランの岡安さんです。また、広場の田中さんが山グループに加わりました。チャレンジ精神旺盛な逸材です。高齢化によるメンバーの減少を嘆いていた山グループにとって嬉しいニュースでした。

さて山の活動ですが、平成最後の4月から散策路の丸太階段や路肩の補修に取りかかり、初夏からは笹刈り、草刈りなどの定例活動を進めてきました。

ところが9月9日未明、台風15号に直撃されました。台風通過後、公園内で信じ難い光景を目にしました。湿性区の落羽松、広場の樺、冒険広場近くの急斜面のムクノキなどが根こそぎ倒れていたのです。

山間部もひどい状態でした。倒木が散策路(山道)を塞ぎ、林の中は倒木や枝葉が散乱し、穏やかだった森林景観は痛々しい姿に変わっていました。

台風の翌日から尾根筋の倒木や落枝の始末を始めました。手間がかかるハードな作業でしたが「ボランティアで出来ることはやる」という意気込みで取り組みました。作業に取りかかってから一ヶ月余り、整備が少し進んだかなと思った矢先に今度は台風19号に追い打ちをかけられました。折角整備した場所がまた倒木や落枝で荒れてしまい、自然の猛威の前に人間の無力さを痛感しました。

倒木処理には危険な作業もあります。倒れかかった木が他の木に寄りかかった「掛かり木」や、折れ曲がった木などは伐倒時に思わぬ方向に倒れたり枝が落ちてきたりします。神経を使う作業ですが幸い事故がなく無事終わることができました。森林保全は経験の積み重ねが大事で、今回の経験は今後の保全作業に必ず役立つと思っています。

台風の後始末に取り組んでから5ヶ月余り、荒れ果てていた山間部が少しずつ穏やかさを取り戻してきました。これから新年度の活動に入りますが、昨秋のような猛烈な台風の襲来がないよう願わずにはられません。

■新林公園保全、その他工事など

●湿性地区遊歩橋の架け替え

従来の木製遊歩橋が老朽化したため、撤去して11月より架け替え工事行われ今年3月で工事完了となりました。

昨年6月より橋が通行禁止となり例年のホタル観察会も中止となりました。

工事に伴い、湿性地区の水循環系も止めたため今後の湿性地区の生態系の復興は時間がかかりそうです。



●湿性地区池の泥の浚渫(泥さらい)

遊歩橋の工事に完了に伴い池の浚渫がおこなわれました。池を上から覗くと池の底が浅く見えていましたが今後は池の水循環も円滑になりそうです。



●新林公園入口リニューアル

平成29年末から今年3月まで、公園入口一帯が「地震に強い水道管への取替え工事」のため立入禁止になっていましたが漸く工事が終わり復元しました。

工事中、現場責任者と思われる方から立ち話で工事内容を聞くことができました。

工事は地下約10mのところトンネルを掘り、ここにコンクリート管(直径1m・内径80cm)を埋設し、その中に水道管(内径50cm)を通すというもの。トンネルは片瀬のポンプ所から新林公園前を通り県道(富士見ヶ丘交差点)まで約1kmの区間で、作業員が地下に潜り作業をすることもあったという難工事とのことでした。

水道管取替工事が終わり、工事中撤去されていた石碑が戻りその他の構築物も復元されて公園入口が見違えるようにきれいになりました。



●善行表彰

藤沢市役所公園課推薦により社団法人日本善行協会から善行表彰されました。

この賞は長年の地域ボランティア活動に対して全国規模で表彰されます。

11月30日(土) 明治神宮にて表彰式典がとりおこなわれました。

(みどりの会は都合により欠席)



●J-COM 藤沢市広報番組「ふじさわ情報ナビ」

新林公園みどりの会の活動が紹介されました。

放映 2019年5月27日～6月2日(15分程度)

【令和元年度みどりの会の活動・運営】

■活動概況

年間活動日数 97日(水、土曜日他含む)
年間延べ参加人数 879人(平均15名/土曜日)

●広場グループ

清掃、除草、花壇作り、湿性地区の花菖蒲の育成を従来通り行いました。

秋から湿性地区の遊歩橋架け替えの為に湿性地区が立ち入り禁止となり、水の循環も停止しました。ほたるの観察も中止となり、生態系の回復に時間がかかりそうです。

●山グループ

上半期は従来通り、山作業として遊歩道の保全・芝刈りなどを中心とした作業を行いましたが9月の台風で倒木等大きな被害があり年度内は遊歩道の確保・整理におわれました。

幸いなことに山グループに新会員が増えて助かっています。

■運営状況

●運営会議開催 (出席)運営委員

年12回(月最終土曜日10時30分～) 内2回は議事録回覧のみ
各月の作業状況、検討項目の確認・承認

●三者会議

毎年5月開催 (出席)公園課、町づくり協会、小池造園、みどりの会
新林公園美化・保全・維持のための意見交換
公園内環境の確認 危険地域、保全箇所、立て札、案内版の見直し 他

●新型コロナウイルス対応の為に令和2年総会(4月11日)中止としました。

■ボランティア募集対策

会員募集の為に各種外部団体に登録してPRしています。

●市民活動センター登録

みどりの会資料 配架申し込み(年6回、市内16施設に配架)

●藤沢市社会福祉協議会登録

ホームページに掲載
登録ボランティアにメールにて紹介
事務所にボランティア募集ちらし配架

●NPO 法人湘南藤沢シニアネット

地域活動見本市 出展

●片瀬地区人材・情報バンクセンター登録



【編集後記】

会報をリニューアルしました。従来は「新林公園だより」として、会員の皆さんの寄稿、トピックスなどで対外的にも公園の魅力を伝える構成としていましたが今回は「新林公園みどりの会会報」として会員の皆様からの寄稿及び年間の活動をイベント、トピックス、活動状況としてお伝えする内容としました。対外的にも新林公園みどりの会の活動がわかるような内容とし、少しでもみどりの会に興味を持っていただき参加者が増えるようにしていきたいと思ひます。

これからも会員の皆様からも気軽に寄稿していただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。【編集委員】

【寄稿随時受付中】

会報発行時期に関わらず会員からの寄稿を随時受付中です。

日頃の作業、何気なく考えていることなどありましたら気ままに寄稿してください。

新林公園みどりの会 ボランティア募集

～ がんばらずに自分の出来ることをやりませんか ～

- ① 広場美化ボランティア
- ② 森林美化保全ボランティア

《活動内容》

新林公園の広場及び山間部の美化・保全全般

- ① 公園内の清掃・除草・花壇の手入れなど
- ② 山間部の植物・遊歩道保全・草刈など

《活動日》【体験参加随時受付】

- ① 毎週土曜日 9:00～11:00
- ② 毎週水・土曜日 9:00～11:00

《集合場所》

藤沢市新林公園 古民家裏

(藤沢市川名字新林 411 番 1)

藤沢駅南口徒歩 20 分 新林小学校となり)

《その他》

- ・会費 年会費 1,000円
- ・服装・持ち物：活動しやすい服、運動靴、帽子、タオル、飲み物



《お問い合わせ先》

新林公園みどりの会 担当 菅(すが)

TEL 0466-77-4915 FAX 0466-77-4915